

パッション
フルーツ
実えんどう

奄美市笠利 長 真琴さん（53歳） 大阪からUターン
介護職から新たに農業に初挑戦！

研修先

（公財）奄美市農業研究センター（笠利営農支援センター）

所在地及び連絡先

奄美市笠利町大字須野1076

電話：0997-56-1222

＜研修作物＞

パッションフルーツ

かぼちゃ

実えんどう



＜新規就農を志した経緯・背景＞

- ・大阪市で介護職に従事していたが、コロナ感染対策が続く中、諸事情により地元へUターンすることを決めた。
- ・農業経験はなかったが、以前から農業に興味があったので、Uターンを機にセカンドキャリアとして農業を選択した。
- ・就農に向けて農業技術を習得することが必要と考え、地元の研修施設で研修生となった。

支援策の活用例

- ・奄美市農業研修助成金（日額5,800円）を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。

これまで苦労した点

- ・奄美固有の害虫駆除に苦労した。
- ・ハウス内での作業、暑さ対策、体力的なスタミナへの課題等。

研修して良かった点

- ・作物の成長が喜びとなり、農業生産に関する技術の習得ができたこと。
- ・研修環境がよく整備されていて、もともと農業がやりたかった中で好きな土いじりができていること。
- ・作物を生産する過程で研修仲間との苦労もあったが、お互い協力して農業研修の目的を達成できたこと。
- ・就農時の目標が明確となり自信が持てたこと。

就農に向けた今後の目標

- 【研修期間】（令和4年7月～令和6年6月）
- ・野菜・果樹の基礎講座、パッションフルーツの栽培技術研修、先進地研修、各種講習会等への参加。
 - ・初年度は、指導員によるマンツーマン指導、研修2年目は、実践研修主体

（現在）

- 【就農後】（令和6年7月～）
- ・パッションフルーツ（センター貸与施設14a）
 - ・実えんどう作付け
 - ・40aの農地を確保
 - ・JA出荷とふるさと納税共販を予定
 - ・奄振事業を活用してハウス6棟を建設予定

就農を目指す方へのアドバイス

- ・農業をやりたいという思いだけではうまくいかないので、まず就農に向けて、必要な農業技術を習得すること。
- ・農業はやり方次第で魅力のある仕事であるが、知識や体力も必要、さらに生産した作物の売先を確保することも求められることから、現実的に即して対処することが大事。頑張してほしい。